

平成29年2月14日

各 位

井関農機株式会社

平成28年12月期連結業績 補足資料

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

1. 平成28年12月期通期連結業績

(億円、%)

	27/12期	28/12期	前期比増減		28/12期	予想比
	調整後ベース※1	実績	金額	率	予想※2	増減
売上高	1,568	1,531	△37	△2.4	1,555	△24
国内	1,254	1,210	△44	△3.5	1,235	△25
海外	314	321	+7	+2.1	320	+1
売上総利益	451	449	△2	△0.6	458	△9
粗利率	28.8%	29.3%	+0.5%	—	29.5%	△0.2%
販管費	449	424	△25	△5.7	430	△6
営業利益	2	25	+23	—	28	△3
金融収支	△7	△7	0	—	△6	△1
他営業外	9	△2	△11	—	△2	0
経常利益	4	16	+12	+338.2	20	△4
特別利益	5	12	+7	—	11	+1
特別損失	△10	△17	△7	—	△13	△4
税前当期純利益	△1	11	+12	—	18	△7
税、税調整額他		△2			△11	+9
親会社株主に帰属する 当期純利益		9			7	+2

(売上内訳)

(億円)

	27/12期	28/12期	前期比 増減	28/12期	予想比
	調整後ベース※1	実績		予想※2	増減
農機製品	619	576	△43	595	△19
作業機	180	190	+10	190	0
補修用部品	141	144	+3	144	0
修理収入	49	52	+3	53	△1
農機関連計	989	962	△27	982	△20
施設工事	55	51	△4	50	+1
その他農業関連	210	197	△13	203	△6
国内計	1,254	1,210	△44	1,235	△25
北米	128	107	△21	107	0
欧州	110	93	△17	93	0
中国	11	32	+21	34	△2
アセアン	18	30	+12	30	0
その他	19	20	+1	20	0
製品計	286	282	△4	284	△2
部品・作業機	23	21	△2	18	+3
その他	5	18	+13	18	0
海外計	314	321	+7	320	+1
売上高計	1,568	1,531	△37	1,555	△24

※1 「27/12期調整後ベース」は、28/12期と比較するため対象期間を同期間に調整しております。詳しくはP4<ご参考資料>をご覧ください。

※2 予想：平成28年11月11日公表予想

1) 前期比

(1) 売上高：前期比37億円減収(△2.4%)の1,531億円

・国内売上高：前期比44億円減収(△3.5%)の1,210億円

当期の国内売上は、農機需要が低水準のまま推移し、農機製品で△43億円となったものの、作業機、部品、修理収入の増加により農機関連全体で△27億円。施設工事△4億円。その他農業関連△13億円。全体で△44億円。

・海外売上高：前期比7億円増収(+2.1%)の321億円

製品地域別では、北米市場はコンパクトトラクタが伸びたものの、為替円高影響に加え、OEM先との取引条件一部変更に伴い売上の一部が翌期にずれ込んだこと等により△21億円。

欧州市場は、天候不順の影響や為替影響などから芝刈機を中心に△17億円。

中国市場は、田植機半製品の出荷増や本格販売となったトラクタ半製品の出荷増等により+21億円。

アセアンは、インドネシアやタイ向けトラクタの出荷増等で+12億円。

なお、為替による影響は海外売上高全体で△22億円。

(2) 営業利益・経常利益

・営業利益：前期比23億円増益の25億円

・経常利益：前期比12億円増益(+338.2%)の16億円

営業利益は、減収や為替円高影響等により売上総利益では減益となったものの、ローコストオペレーションの徹底による大幅な経費の圧縮や人件費の削減で+23億円。

経常利益は、為替差損の計上及び中国の関連会社にかかる持分法投資損益の悪化(為替差損計上や開発費負担の増加)等により、営業利益の増益幅が圧縮され+12億円。

(3) 税前利益・当期純利益

・税前利益：前期比12億円増益の11億円

・当期純利益：9億円

税前利益は、熊本地震による災害損失11億円の特別損失計上があったものの、投資有価証券売却益11億円の特別利益計上等により+12億円。

2) 予想比

(1) 売上高：予想比△24億円(国内△25億円、海外+1億円)

国内売上高は、農機製品で△19億円と予想を下回り、全体で△25億円。

海外売上高は、ほぼ予想通り。

(2) 営業利益：予想比△3億円

経常利益：予想比△4億円

営業利益は、減収による売上総利益の減少を販管費の圧縮でカバーしきれず△3億円。

経常利益は、△4億円。

(3) 税前利益：予想比△7億円

当期純利益：予想比+2億円

税前利益は、経常利益の減少及び課徴金の計上により△7億円。

3) 配当：1株当たり1.5円の期末配当予定

2. 平成29年12月期 業績予想

【平成29年12月期通期連結業績予想】

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(億円、%)

	28/12期 実績	29/12期 業績予想	前期比増減	
			金額	率
売上高	1,531	1,615	+84	+5.5
国内	1,210	1,253	+43	+3.5
海外	321	362	+41	+12.9
営業利益	25	35	+10	+41.8
経常利益	16	37	+21	+126.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	27	+18	+214.7

*想定為替レートは、対米ドル115円、対ユーロ120円。

〔業績予想の考え方〕

1) 売上高

・国内売上高：国内農機需要はほぼ横ばい推移。

一方、担い手を中心とした大規模化の進展や、野菜作・畑作への転換に向けた農業施策により、関連の作業機、部品、修理収入や施設工事を中心に、国内売上高全体で前期比+43億円。

・海外売上高：地域別には、欧米市場において戦略商品の投入効果等により回復基調に転換。また、アセアン市場におけるタイでの大型代理店事業(一部)買収によるディーラー網の拡充に加え、中国市場での排ガス規制対応が完了したことに伴う田植機半製品の出荷増等により海外売上高全体で前期比+41億円。

2) 収益

・営業利益：増収による利益の増加に加え、インドネシア事業の採算改善やローコストオペレーションの継続等により、前期比+10億円。

・経常利益：前期に計上した持分法投資損失がなくなる事等から、前期比+21億円。

【平成29年12月期 期末配当予想】

当社は、株主の皆様に対する配当の決定を最重要政策の一つと認識しており、連結業績のみならずグループの財務体質や今後の事業展開、経営環境の変化などを総合的に勘案し、継続した配当の維持、向上を基本方針としております。

平成29年12月期は、1株当たり1.5円～3円の期末配当を予定。

以上

(ご参考)

・中国事業の売上高を含むグローバル海外売上高予想

(億円、%)

	28/12期 実績	29/12期 業績予想	前期比増減	
			金額	率
海外売上高	370	437	+67	+18.1
海外売上高比率	23.4%	25.9%	—	+2.5

<ご参考資料>

前期実績との業績比較について（平成27年12月期調整後ベースとの比較）

当社は、平成27年度より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更いたしました。経過期間の平成27年12月期は9ヶ月の変則決算となっていることから、業績比較については財務報告の対象期間を平成28年12月期と同期間とした調整後ベース実績を使用しております。

なお、フランスの子会社のみ9月末決算となっております（通期では、10～9月を計上）。

【通期業績実績の業績比較】

■財務報告ベース

- ・平成27年12月期：旧3月決算会社：4～12月、12月決算会社：1～12月
- ・平成28年12月期：旧3月決算会社：1～12月、12月決算会社：1～12月

	1-3月	平成27年12月期			平成28年12月期			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
a. 旧3月決算会社 井関農機 他								
b. 12月決算会社 国内販売会社 他								

■調整後ベース

- ・平成27年12月期：旧3月決算会社：1～12月、12月決算会社：1～12月
- ・平成28年12月期：旧3月決算会社：1～12月、12月決算会社：1～12月

	1-3月	平成27年12月期			平成28年12月期			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
a. 旧3月決算会社 井関農機 他								
b. 12月決算会社 国内販売会社 他								